

発行元：新島村農業委員会事務局（新島村産業観光課内） ☎（5）0284（直通）

# 令和5年度 農業委員会だより

## 利用されていない畑の対策強化が始まります

8月までに農業委員会委員が実施した「農地利用状況調査」の結果を基に、村内の畑を次のとおり分類します。

### 【畑の分類について】

- ① 耕作地：利用されている畑。
  - ② 遊休農地 緑区分：現在利用されていない畑で、トラクターの耕耘等で利用可能。
  - ③ 遊休農地 黄色区分：現在利用されていない畑で、重機等で開墾すれば利用可能。
  - ④ 再生不可農地：現在利用されておらず、立地や周辺状況から今後畑としての利用が難しいと思われる畑。
- この分類により、②③④と判断された畑の所有者の方へ、左記の通知を送付いたします。

### 【農地利用意向調査】

- ① 東京都の機関を仲介する農地中間管理事業により、借受希望者に貸与しても良い。
- ② 自ら所有権の移転・貸借権の設定を行う。
- ③ 6か月後、現地を確認させていただき、耕作されていない場合は指導・勧告の措置の対象となります。

- ③ 自ら耕作する。
  - ④ その他（親戚に貸借中など）
- ①②④の中から回答を選択し、必ず回答ください。
- 回答締め切り後、6か月たっても回答が無かった場合は、指導・勧告の対象となります。

### 【非農地判断】

再生不可の畑の所有者の方  
 ↓現在、畑として利用されておらず、立地や周辺状況から、今後畑としての利用が難しいと思われるため、村では「農地ではない」と判断（「非農地判断」）し、村で登記地目の変更を行うこともありますので、ご了承ください。

### 【非農地証明】

これらの措置とは別に、登記地目「畑」の土地を20年以上、「畑」以外の目的で利用してきたことが証明できる場合は、所有者自らの申請により「農地ではない」ことを証明し、地目変更登記を行う手続きです。

手続きの方法などについては、担当までお問い合わせください。

【問い合わせ先】  
 新島村農業委員会事務局  
 （5）0284

## 今年の梅雨…

毎年4月に里芋植え付け、5月初旬から6月中旬に甘藷植え付けを完了し一段落。植え付け時期には降水量もそこそこあり、まずまずのスタートでしたが、甘藷植え付け後はろくな雨が降らないまま現在に至っています（7月31日時点）。

本来なら、この時期は甘藷も里芋も芋の形が出来てもいい時期なのですが、空梅雨で畝の中の水分がないため根が伸びない状態です。これから先、雨がまだ見込めない状態が長くなると、大した収穫が見込めなかと心配しています。

またマルチ張りをして雑草を抑制しようとしたのが裏目に出てしまい、本来この時期に伸びるはずの芋のツルが伸びておらず、直射日光を遮る葉がないことから、マルチに直接、真夏の日光が当たり、雨が降らない状態も重なって畝の中は水気のない状態です。

見るに、マルチ張りしてない畑は畝の状態は水分量はあるように感じます。



▲スプリンクラーの様子

特に里芋は熱帯地方が原産と聞いていたため、水だけは欠かしたことはありません。

里芋は2回目追肥・畝上げも終わり順調に育っています。

みなさん、水は大切です。雨が降らないことに備え、甘藷に対しても十分な水やりを忘れないようにしましょう！

（里芋2か所…1200株  
 セレベス自種…800玉）

農業委員 北村一男

# 知って得する 台風対策の基礎知識



▲被覆がはがれ、歪んでしまったハウス

本格的な台風シーズンが始まります。被害を抑えるため台風対策の基礎をおさらいしましょう！

**まずは「安全第一」**

台風対策を行う際は、自身の安全に十分気を付けましょう。特に台風が接近したら、畑には行かず安全な場所まで過ごしてください。

### 台風通過前の対策

- ① 農業用ハウス  
 ハウス内に風が入ると、被害が大きくなります。風が入らないよう閉められるところは閉めましょう。
- ② 被覆資材  
 強風で被覆資材が飛ばされることがあります。トンネルやハウスの被覆資材が飛ばされないようマイカー線などで補強しましょう。

### 排水路の確保

大雨により水の溜まりやすい畑はかん水することがあります。そういった畑では、水が排水されるよう畑に溝を切り、排水路を作りましょう。

### ★台風前、できるだけ収穫を！

特にナスなどの果菜類は、風の影響でキズがつき品質が著しく低下します。少し小さくても台風が来る前に収穫しましょう。

### 台風通過後の対策

- ① 潮を洗い流しましょう  
 作物が潮風を浴びると、葉が枯れるような症状が出る場合があります。なるべく早いうちに作物全体に水をかけ潮を洗い流しましょう。
- ② 病害対策を行いましょ  
 大雨、強風などの被害にあった作物はキズがつくなどダメージを受けています。このダメージがきっかけで病気になることがありますので、必要に応じて殺菌剤を使用し、病害を予防しましょう。

※農業を使用する際は、薬剤のラベルをよく確認してから使用して下さい。

今回は基礎知識をご紹介しましたが、より詳しい知識をご希望の方は下記までご相談ください。

- 普及指導センター（5）0281
- 農業委員会事務局（5）0046
- 新島村農業協同組合（5）0046

普及指導員 矢引 達人

## オリジナル焼酎を作ろう

7月11日（火）ふれあい農園にて、新島高校の3年生が、農家の大沼剛さんのご指導の下、芋の植付を行いました。

毎年、ふれあい農園では、高校3年生が、あめりか芋を自分で植付・収穫し、その収穫した芋を宮原酒造にて焼酎にしております。

みんな右も左も分からない中、暑さに負けない一生懸命芋を植えました。

自分であめりか芋を植付・収穫し、自分だけのオリジナル焼酎を作ることには新島ならではの貴重な体験になります。



▲頑張っている高校生の皆さん

ふれあい農園では、苗の販売だけでなく、農業環境に係る試験や、実際に作物に触れながら学ぶことができる園芸教室、イチゴの摘取り、その他農業や機械に関する相談も受けています。

困ったことや、気になったことがありましたら、お気軽に農園もしくは産業観光課農林係へお気軽にお問い合わせください。

新島村ふれあい農園（5）0539  
 新島村産業観光課農林係（5）0284

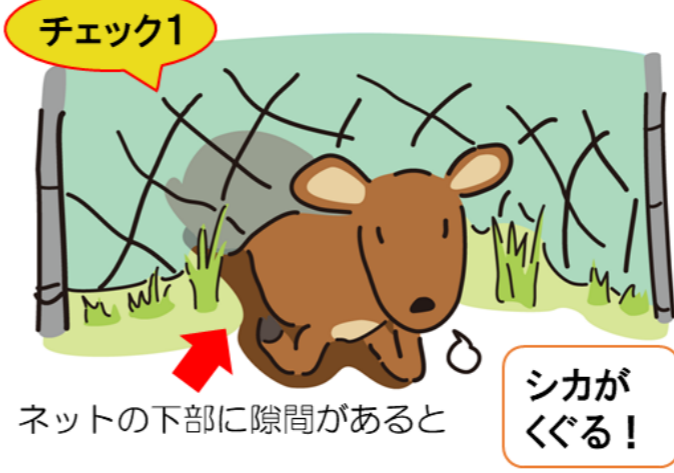
# 農作物被害



## 目指せ!

### 防鹿ネットを確認して 農作物をシカから守ろう!

相談窓口：新島村役場  
産業観光課 04992-5-0284

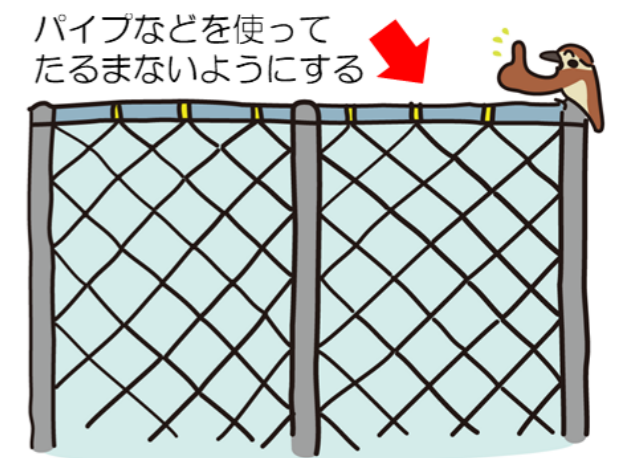


チェック1

ネットの下部に隙間があると

シカがぐる!

下部を埋めるパイプを使うなどして隙間をなくす

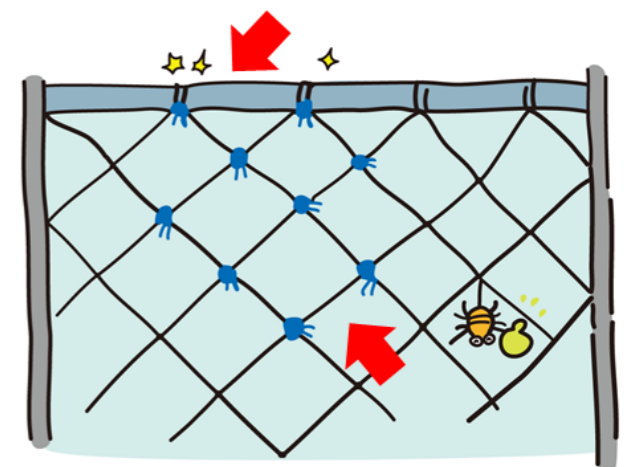


チェック2

上部に弛みがあると

シカが乗り越える!

パイプなどを使ってたるまないようにする



チェック3

木の枝や錆でこすれてネットが破れると

シカが広げて入ってくる!

補修、張替えをする

## 趣味の農業のススメ 其の四

そろそろ私の虫嫌いが世間にバレてきていることと思いますが、今回もお題は虫です。

生活圏では嫌われ者の、クモ、ムカデ、シロアリ等ほとんどでもない害虫ですが、畑では正反對の「益虫」となります。

畑の害虫は主に「草食系」で、芋虫類・尺取虫類・アブラムシ等で、丹精込めて作った作物を「その体のどこに入るんだ!」というほど食べ散らかします。なかには作物だけでなく、根元から食い倒す虫もいます。

それらを食べる「肉食系」主にクモ、ムカデ、スズメバチ、ゲジ等見た目はアシですが、とても優秀な「正義の味方」様なのです。

中でもシロアリは特殊で、畑の作物には目もくれず倒木や伐採木を食べ、土に還して土壌を肥えさせる役割があり、地球にとって無くてはならない存在です。

(ちなみにゴキブリの仲間です)

よく見かける虫ですが、放っておいてはいけません!



▲尺取り虫

▲アブラムシ



▲雨が降らない分、甘く育ったトマト

シロアリは腐った木の中に巣を作り繁殖し、巣の中を食へ尽くすと羽が生え、新天地を求めて飛び立ちます。次の土地に着地すると羽が取れ、巣と才に出会えば次の王国を築きます。

皆さんはここで「自宅がシロアリにやられる!」と思いがちですが、誤解です!シロアリは「健康な樹木、正常な状態の木には食べないのです。

白アリが好むのは、常時湿っている状態で、菌が繁殖し軟らかくなった状態の「腐った木」です。

シロアリの被害にあったならば、その家のどこかに「腐った木材」(常時水が入り込み、乾きにくい部分)が既にあるということです。

もし、シロアリが居なくなれば、山の倒木が自然に土に還るのは何十年、何百年もかかり、倒木だらけとなりまします。まさに、サステイナブルを地道に「地球に優しい虫」なのです。

数年前に台風による大量の倒木がありました。まさに今その中でせっせと繁殖し、大量のシロアリが新島の夕暮れを舞い踊る日も近いかも...

いかがですか?別の角度から見ると可愛らしい「畑のヒーロー」に見えませんか?無理ですよね!

白アリ≠白土

## 新たな若い力に注目

式根島に、竹村純菜さんという新たな移住者がやってきました。

彼女は5年前から毎年、観光もしくは夏のシーズンに働くために式根島に来島しており、島の自然や人に惹かれ、今年の春に移住を決定し来てくれたのです。

彼女は明日葉栽培にも興味があり、将来的に農業での起業を目標にしています。彼女自身、農業で生活できるようになるまで厳しい道のりであることを自覚していますが、目標達成に向け、色々な仕事を掛け持ちするという熱い想いを抱いています。

余談ですがテントウムシは、アブラムシを食べてくれる「正義の虫」で私が唯一触れる虫です。

農業委員 吉見一之



▲竹村 純菜 (たけむらじゅんな) さん

そんな想いに応えるべく、私を含め式根島の皆さんのサポートもあり、仕事と住居が決まり、昨年移住してきた関口くんに続き、島の農家さんや農業普及員の矢引さん、村役場の新井さんの協力のもと農業の体験・技術研修を受けているところです。

式根島での体験研修は私の下で行い、アメリカ芋の植付準備や、肥料の運搬、耕耘、トラクターやマルチャーの操縦を行った。機械操作は初めてだったことから最初は苦労していたが、5日間の研修を経て、彼女自身のセンスもあり、すぐに作業に慣れた印象だった。

今後は、本村、若郷地区の農家さんの下で、農業全般の技術研修を受ける予定です。



▲マルチャーにてマルチを張る竹村さん

そんな彼女も、移住してきて半年、島の生活にも馴染んできています。それも新島村の皆さんの協力がなければ為しえなかったと思います。

これからの島の農業にとって「若い力」は欠かせません。どうか島全体でサポートし、島の農業を発信していきたいと切に思っています。

農業委員 奥山敏仁